

第40回卒業式 式辞

澄みきった空気が播州平野に広がり、播磨灘から流れる柔らかな風に春の到来を感じる今日の佳き日に、佐伯謙作播磨町長様をはじめ多数のご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、兵庫県立播磨南高等学校 第40回卒業証書授与式を挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない喜びでございます。高いところからではございますが、ご臨席賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

まずは、ただいま卒業証書を授与しました40回生145名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今日までお子さまを物心両面から支え、励ましてこられた保護者の皆様、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。ご入学から本日までの間、本校の教育活動にご支援をいただき、心からお礼を申し上げますとともに、こうして卒業式を迎えることができたのは、保護者の皆様のご理解とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

さて、40回生の皆さんのことを考えると、真っ先に浮かんでくるのは「優しさ」です。一緒に行った沖縄修学旅行では、全体での集合と各プログラムの活動において、全員が時間を守ろうと意識をした行動がとれていました。それは、けして先生に叱られるからではなく、40回生一人一人が時間を守ろうとする集団としての規律が、他の人に迷惑をかけない、周りの人のことを考える優しさに繋がっていました。だから、那覇のホテルでエレベーターが止まった時は多くの人が10階までの階段を汗をかきなら駆け上がって来ましたね。その行動が皆さんの優しさなのです。沖縄のビーチで水を掛け合いながらはしゃいでいる皆さんの笑顔はとても素敵でした。そして、学年レクリエーションでの大橋君と宮本君による新阜先生の物真似に新阜先生ご本人が入って、ステージに3人もの新阜先生はもうカオスな状態で大笑いしましたが、そこには皆さんの新阜先生への親しみと優しさが溢れていました。自分が作ったサーターアンダーギーを校長先生どうぞと言ってくれる人、オリオンビールのTシャツ買いましたと見せてくれる人など、ちりばめられた皆さんの優

しさを随所に見ることができた素晴らしい修学旅行でした。また、潮風祭ではコロナ禍で途絶えていた模擬店を4年振りに復活させて大いに盛上げてくれました。体育祭では、学年を越えて後輩達を一生懸命に応援する姿には、最上級生としての優しさと逞しさを感じました。卒業しても皆さんの中にあるその優しさを大切にしていってください。まずは自分自身への優しさです。これは自分を甘やかす意味ではなく、苦しい時に自分を励まし、上手くいった時に自分を褒めてあげる優しさです。そして家族や大切な友人など親しい人達への優しさ、幼い子や高齢者の方など社会の中で弱い立場にある人達への優しさを持つ大人であってください。周りの人のことを考えて行動するその優しさこそが、これからの社会で求められる大切な力です。

播磨南高校での学びは、教科書の知識だけではありません。播磨町との結びつき、仲間と協力することの大切さ、自分と異なる考えを尊重する姿勢、そして失敗から立ち上がる強さを、皆さんは学校生活の中で身につけてきました。これらは、今後どのような進路を選んだとしても、皆さんを支える大切な財産となるはずです。この財産を胸に、それぞれの道を、自分自身の可能性を信じ、粘り強く前に進んでください。

最後になりましたが、ご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席に、重ねて感謝申し上げますとともに、今後とも、本校へのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆さんは今日で本校を卒業し、これからそれぞれの道を歩んでいきます。この先、迷い悩むことがある時は、いつでも母校を訪ねてください。私たち教職員は、皆さん一人一人の新しいステージでの活躍を心から応援しています。

皆さんの限りない前途が、健やかで、希望に満ちたものとなることを祈念して式辞といたします。

令和8年2月27日 兵庫県立播磨南高等学校 校長 黒岩 寛